

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 組織活動 | 労働運動 (基礎的労働条件②) | 社会生活と三位一体の労働条件 (賃金・労働時間・休養)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織 (公務員)

教育カリキュラム

▶ キーワード検索はこちら

労働運動 (基礎的労働条件②) | 社会生活と三位一体の労働条件 (賃金・労働時間・休養)

三位一体の労働条件は何を意味しているか

低賃金・長時間労働・休養なしの労働が歴史的にどんな弊害を社会に起こしたか。

健康障害 (寿命短命)

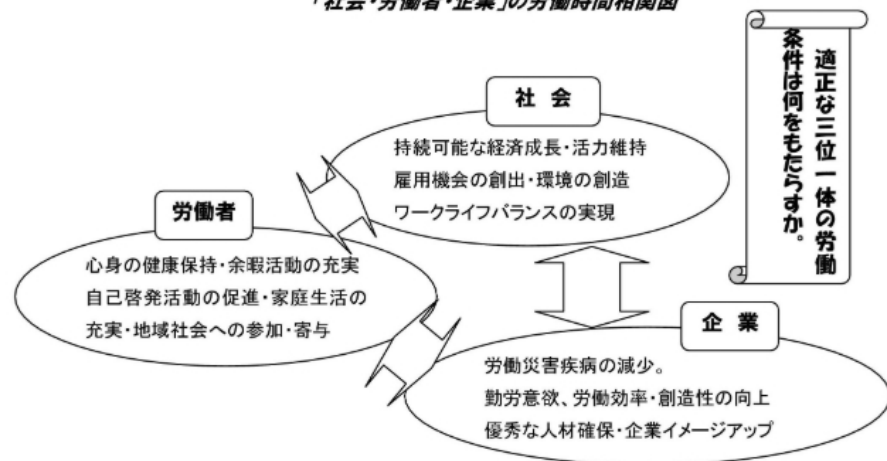
家庭生活の貧困化

人間的成長の阻害

生産性の低下 (疲労と思考の停滞・労働災害疾病の多発)

社会の混乱・不安の増大

「社会・労働者・企業」の労働時間相関図



すべてが関わり合い「影響し合っている」

社会のすべてが単独で存在しているわけではありません。すべてが何らかのかたちで、関わり・関係して存在しているのです。

労働条件も同じです。特に三位一体と言われる基礎的な労働条件「賃金・労働時間・休養 (休日・休暇・休憩)」は労働者の社会生活と密接不可分の関係にあり、労働者を社会の構成員として正しく認識する歴史的過程でいろいろなことが起こっています。

その一例をチャート化したシートです。

基本的な労働条件「賃金・労働時間・休日休暇」③ とセットで捉えると全体像が把握でき、労働条件が単なる労働者の利益でないことが理解できると考えます。

企業に雇用され、雇用契約として「労働条件」を見、企業内の労働条件として、社会との繋がりや関係性を遮断して捉えがちですが、このように労働条件の意味するところを押さえ、その重要性を認識することが必要です。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[📄 サイトマップ](#) [📄 このサイトについて](#) [📄 個人情報保護の取組みについて](#)

[📄 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.